

## 第2回 台東区区民憲章策定区民会議 グループ会議

### 第3グループ 議事概要

4月27日(木) 20:30~21:00

台東区役所 1002 会議室

#### 1. 前文について

- ・ 前文については、地名をそのまま出すのではなく、イメージを伝える表現とすることに賛成である。台東区は、地域によって様々な個性があり、上野・浅草以外にも捨てがたい地域が数多くある。読む人によってイメージする地名が異なるような表現の方がよい。
- ・ 上野・浅草は、両方ともに「下町」と言われているが、現実には異なるものである。また、地名として埋もれた地域にもよいところが数多くあるので、そうしたところをイメージできる言葉、表現になっているとよい。
- ・ 前文には、存在場所を一言で表す言葉を、地名を使わずに表現したい。「下町」という言葉は、台東区の他にもあるので弱い印象がある。例えば、「都心の玄関口」など強烈なイメージを与えることができる言葉を前文に盛り込む必要がある。
- ・ 台東区全体としての地理的な情報や、特徴、自然環境などを盛り込むことが大事である。
- ・ 地名は一切盛り込みたくない。また、松尾芭蕉の石碑が荒川区に建立されているし、台東区とのつながりと言え、樋口一葉の方が関わりが深いのではないか。隅田川も、台東区と墨田区の境を流れていることに留意が必要である。本当に台東区固有のものだけを表現した方がよい。
- ・ ただし、「上野・浅草」がアンケートの上位となっている事実をみると、前文であれば「上野・浅草」という表現を盛り込むことも受け入れざるを得ないかもしれない。
- ・ 前文のボリュームとしては、100字以内ではないだろうか。

#### 2. 本文について

- ・ 本文については、思っていた通りの5つの柱立てになっているので問題ない。
- ・ 本文の中では、「思いやり」が一番大事であると考えている。近所の人たちを見ていると、「思いやり」が、全ての行動の出発点になっているように感じた。こうしたことは決して無駄なことではないことを伝えたい。
- ・ 「きずな」という言葉を盛り込みたい。台東区と姉妹都市の提携を結んだ他の都市は、ほとんどが台東区と提携を結ぶ理由として「きずな」を挙げている。
- ・ 「安全・安心」という言葉は、何か個性を感じない。「こわい」というイメージをうち消すような「安全・安心」に代わる言葉はないだろうか。
- ・ 本文で、区民ができること、自らの思いを表現しようとするれば、例えば、「台東区民は、

にぎわいのあるまちづくりをするために、 をします」というように文末表現は、「～します」「～のために努力します」「～のために協力します」といったものになるのではないだろうか。ただし、他の自治体の、「～のために～します」という文末表現の憲章をみると、内容にもよるが押しつけがましい印象を受ける場合もある。

- ・ 本文は、区民としての自覚を促すような内容がよい。

### 3. 表現について

- ・ 盛り込んだ内容がさらに具体的に表現できるとよい。例えば、本文で「きれいなまちにする」と表現するとすれば、どこかに「ゴミを拾う」などの実践項目があるとよい。ただし、具体的な実践内容を解説文として区民憲章に入れるかどうかは、全体で議論すべき事項である。
- ・ 区民憲章はどうしても固苦しい印象を受ける。そのため、「誓いの言葉」という副題を入れてはどうか。また、台東区基本構想のキャッチフレーズ「にぎわい いきいき したまち台東」を入れてはどうか。

### 4. その他

- ・ 2回のグループ会議両方を欠席された委員の意見も聞きたいので、本日の資料や検討結果の資料を送る際には、FAXで意見を表明できるようなシートを付けてほしい。また、その意見内容については、他の委員に次回の全体会前に教えてほしい。

(以上)